

---

## FAX 送信のご案内

---

発信日時 1月21日(木)

本紙共 6 枚

発信先 会員各位

発信元 熊本東南ロータリークラブ  
会長 松本一也  
幹事 福井 学

〒860-0846  
熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL 096-354-4521  
FAX 096-354-4053  
EMAIL [serc@serc2720.org](mailto:serc@serc2720.org)



ロータリーは機会の扉を開く

---

通信欄

---

2021年1月20日 「会長の時間」 および 「幹事報告」

皆様こんにちは。お元気でお過ごしでしょうか。

1月20日の例会がお休みでしたので、「会長の時間」と「幹事報告」  
をお送りさせていただきます。



## 会長の時間

令和3年1月20日

松本 一也

皆さんいかがお過ごしでしょうか。この新型コロナウイルス禍の中で一生懸命努力されていることと思います。もう少しです、頑張りましょう。

今日は、戸籍制度についてお話ししたいと思います。

世界の中で、日本と同じような戸籍の制度を設けている国がどれだけあると思いますか。以外にすくなく、日本を除くと「中国（中華人民共和国）」と「台湾（中華民国）」の二つの国だけです。少し前までは、韓国も戸籍制度がありましたが、2007年の大晦日に撤廃し、家族関係登録簿による個人単位の登録になりました。

戸籍の始まりは、古代中国の華北社会にあるとされています。「戸」と呼ばれる小さな家族集団の単位が生まれ、権力者が「戸」で民衆を把握する際に書類を作成し、それが戸籍の始まりだと言われています。

日本の最も古い戸籍は、日本書紀に記録があり名籍（なのふだ）と言われ、渡来人等の記録をするための限定的なものだったそうです。その後、飛鳥時代の645年、「大化の改新」で戸籍が制度化され、670年に「庚午年籍（こうごねんじゃく）」と呼ばれる制度が作られました。この庚午年籍が大化の改新以後、日本で最初につくられた、整備された全国的な戸籍とされています。主な機能は身分・氏性を確定する台帳のよ

うなもので、徴兵のために利用する目的もあったようです。

その後、9世紀初頭（平安時代）から、制度自体が崩壊し全国単位の戸籍の作成がおこなわれなくなりました。

次に、戸籍制度とまではいえないものの、管理制度らしいきものが出てきたのは、安土桃山時代に豊臣秀吉によって行われた「太閤検地」からです。これは年貢として米を取り立てるためのもので、その土地の権利関係、土地の広さや、収穫量、耕作している農民はだれか等を帳簿にしたもので、太閤検地によって作られた検地帳は課税のための制度という意味合いが強かったようです。

江戸時代になっても戸籍制度は完成しませんでした。しかしその頃は徳川幕府のもと身分制度が確立し「宗門人別改帳（これには、民の家族構成・生年月日・職業・血縁関係及び檀家寺が記載されていたそうです）」という村、町ごとに作られた人民を調査した台帳や、お寺の作成した「過去帳（これはお寺か本家が管理していた）」が現在の戸籍制度の役割を果たすようになりました。

その後、黒船が来航し、欧米列強の脅威にさらされた明治維新後、明治新政府は近代国家、中央集権国家の確立を目的として、国民管理を全国単位で厳格に行い、租税制度や徴兵制度を確立し、人口統計の集計をする必要がありました。

そこで、明治5年に国としての本格的な戸籍制度が創設され、明治5年式戸籍「通称、壬申戸籍（じんしんこせき）」が作られました。壬申戸籍には、戸（世帯）の総人員の氏名・年齢・戸主との続柄・婚姻・離婚・

養子縁組・離縁などの身分関係が主な記載事項でした。地域によっては職業、宗旨寺、田畑の面積、牛馬の頭数等が登録された例もあったそうです。この戸籍には、士族・平民等その他の身分が記載されており、現在では閲覧禁止となっています。また、壬申戸籍を元にした調査では、当時の日本人の総人口は3, 3 1 1万人と集計されています。

次回は、現在の戸籍と、戸籍のない外国との比較をしたいと思います。

■ 幹事報告 ■

幹事 福井 学

■ 来信案内

1)

大森克磨 ガバナーエレクト、永田壮一 研修リーダーより、PETS と地区研修・協議会の日程の予告。(現段階では集合開催の予定ですが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、オンラインセミナーやハイブリッドセミナーに変更する可能性があります。)

PETS (集合開催の場合)

日時 2021年3月6日(土) 13:00~17:00

同 7日(日) 9:00~12:00

場所 ホルトホール大分

地区研修・協議会 (集合開催の場合)

日時 2021年4月4日(日) 9:00~17:00

場所 ホルトホール大分

2)

第7回定例理事会報告。

※別紙の議事録をご参照ください。

■ 今後の行事

開催日		行事名	場所	会場	出席者
2021年	2月6日(土)	地区補助金管理セミナー	熊本県上益城郡	嘉島町民会館	吉田嘉昭、松岡泰光、 彌富照皇、古田哲朗
	3月6日(土)・7日(日)	PETS	大分県大分市	ホルトホール大分	新着
	3月13日(土)・14日(日)	地区大会	熊本県熊本市	ホテル日航熊本、熊本城ホール	案内中
	4月4日(日)	地区研修・協議会	大分県大分市	ホルトホール大分	新着

